

平成 11 年度

【憲法】

第 1 問

受刑者 A は、刑務所内の処遇改善を訴えたいと考え、その旨の文書を作成して新聞社に投書しようとした。刑務所長は、A の投書が新聞に掲載されることは刑務所内の秩序維持の上で不相当であると判断して、監獄法第 46 条第 2 項に基づき、文書の発信を不許可とした。

右の事案に含まれる憲法上の問題点について論ぜよ。

第 2 問

X 市は、住民の静穏な生活環境を良好に保持するために、次のような趣旨の条例を制定した。この条例の憲法上の問題点について論ぜよ。

1 X 市の一定の区域内でパチンコ店を営業しようとする者は、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（風営法）の許可のほかに、あらかじめ市長の同意を得なければならない。

2 市長の不同意に不服がある者は、裁判所に訴えを提起する前に、X 市の設置する、市長及び議会から独立して職権を行使する不服裁定機関の裁定を受けなければならない。

平成 12 年度

【憲法】

第 1 問

学校教育法等の規定によれば、私立の幼稚園の設置には都道府県知事の認可を受けなければならないとされている。

学校法人 A は、X 県 Y 市に幼稚園を設置する計画を立て、X 県知事に対してその認可を申請した。X 県知事は、幼稚園が新設されると周辺の幼稚園との間で過当競争が生じて経営基盤が不安定になり、そのため、教育水準の低下を招き、また、既存の幼稚園が休廃園に追い込まれて入園希望児及びその保護者の選択の幅を狭めるおそれがあるとして、学校法人 A の計画を認可しない旨の処分をした。

この事例における憲法上の問題点について論ぜよ。

第 2 問

最高裁判所の規則制定権と国会の法律制定権の競合関係について、議院の規則制定権と国会の法律制定権の競合関係と対比しつつ、論ぜよ。

平成 13 年度

【憲法】

第 1 問

法律上強制加入とされている団体が、多数決により、特定の政治団体に政治献金をする旨の決定をした。この場合に生ずる憲法上の問題点について、株式会社及び労働組合の場合と比較しつつ、論ぜよ。

第 2 問

下級裁判所の裁判権の行使に関し、「下級裁判所は、訴訟において、当該事件に適用される法令が憲法に違反すると認めるときは、その事件を最高裁判所に移送して、当該法令の憲法適合性について最高裁判所の判断を求めなければならない。」という趣旨の法律が制定された場合に生ずる憲法上の問題点について論ぜよ。